



2025年 中国のベスト留学都市

- 歴史と現代の融合
- 豊富な教育資源
- 友好的で開放的な姿勢

No.1
2025年中国のベスト留学都市

4つの中心
北京の都市としての位置付け
国家政治の中心、文化の中心、国際交流の中心、科学技術イノベーションの中心

92校の大学
162学科が「世界一流大学・一流学科」建設リストに入る
それぞれ全国の25%と35%を占める
A+クラスの学科数が全国の44%を占める

3000年
北京の歴史
70万年の人類歴史
3000年以上の都市建設史
870年以上の首都としての歴史
世界文化遺産最多保有都市(8件)

「留学北京」<https://english.beijing.gov.cn/studyinginbeijing>
北京が丹念に作り上げた「留学北京」ポータルサイト
英語、韓国語、日本語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、アラビア語、ポルトガル語の9言語で留学情報を提供する
留学生が学科専攻、特色プログラム、奨学金申請、研究交流、文化活動、滞在・在留、インターンシップ・就職などの信頼性ある情報を検索できる
生活、レジャー、仕事など情報を全面的に網羅

北京留学を選ぶ10の理由

- ① 深い文化の蓄積と有名な歴史ある都市としての魅力
- ② 国際交流が盛んな都市、唯一のダブルオリンピックを開催した都市
- ③ トップクラスの大学が集結し、教育資源が豊富である
- ④ 科学技術革新の最先端、発展のチャンスが広い
- ⑤ 優れた言語環境、中国語学習の最適地
- ⑥ 奨学金が豊富で、様々な政策サポートがある
- ⑦ 学術交流が広く、国際的な視野も広い
- ⑧ 雇用の展望が広く、グローバル競争力を強みとする
- ⑨ 社会が安定していて、留学環境が安心である
- ⑩ 多様な美食文化、便利な現代的生活

テーマ1 どのように大学と専攻を選択すれば良いのか。

1. 出願するプログラムの種類は、どのように選べばよいのか。



- その他
- 予備校、サマーコース、中国語学習、短期研修、職業技能訓練などの非学歴教育が選択可能。
- 学歴教育
- 専門学校の基本修業年限は2-3年。
大学学部教育の基本修業年限は通常4年。
修士課程の基本修業年限は2-3年。
博士課程の基本修業年限は3-4年。

中国に留学する学生に人気の専攻



UNDERSTANDING BEIJING

2. どのように大学を選択すればよいのか。

- 985
- 世界のトップレベルの一流大学を建設するために実施した教育プロジェクトで、全国に39校ある。21世紀に向けて、全国で112校の高等学校と重点学科を重点的に建設するプロジェクトである。
- 211
- 世界一流大学と一流学科で、中国の大学教育分野の「211プロジェクト」、[985プロジェクト]に続く国家戦略である。現在147校の大学が建設されている。
- 双一流
- 北京には92の大学と科学研究院があり、海外からの留学生を受け入れている。北京の多数の大学の中から、大学の総合ランキング、専攻のランキング、自分の興味や将来の就職などの側面を考慮する必要がある。大学のランキングは、その学校の教育の質と科学研究の實力を直接に反映するもので、多くの留学生は、QS世界大学ランキング、中国の「985プロジェクト」大学であるかどうか等を参考にし、進学先を考えることが多い。北京には、中国のトップレベルの2つの大学-----北京大学、清華大学だけでなく、多くの「985プロジェクト」、「211プロジェクト」と「双一流」の大学があり、これらの大学には非常に優れた重点学科があり、専攻のランキングは世界でも上位に入っている。自分の興味に応じて、それぞれの分野で強みを持つ大学を重点的に検討するとよい。大学のランキングが全てを決める訳ではない。大学の教育スタイルやカリキュラムの設置、自分が関心のある分野の教員陣の充実度など総合的に考慮すべきである。同時に、大学の国際化の程度、特別な育成プログラム、卒業生のネットワーク、更にはインターンシップや就職の機会が提供されているかどうかといった点も、多くの学生が進学先を選ぶ際に重視する要素となっている。「留学北京」ウェブサイトを開覧することで、北京の大学について知ることができる。また、そこから各大学の国際版ウェブサイトへ直接アクセスでき、興味のある大学について詳しく調べることができる。

3. 入学条件はどのように調べればよいのか。

「留学北京」ウェブサイトまたは各大学公式サイト、微信(WeChat)の公式アカウントなどで北京の大学の学生募集情報が確認できる。

大学、専攻、プログラム、奨学金などについて詳しく調べ、自分の興味や学術的背景に適合した大学、専攻、プログラムを選び、具体的な入学条件を調べる必要がある。以下は、入学に関する一般的な共通条件である。

3.1 基本条件

(1) 有効なパスポートを所持している中国国籍以外の者

(2) 心身ともに健康であること

(3) 犯罪歴のない者

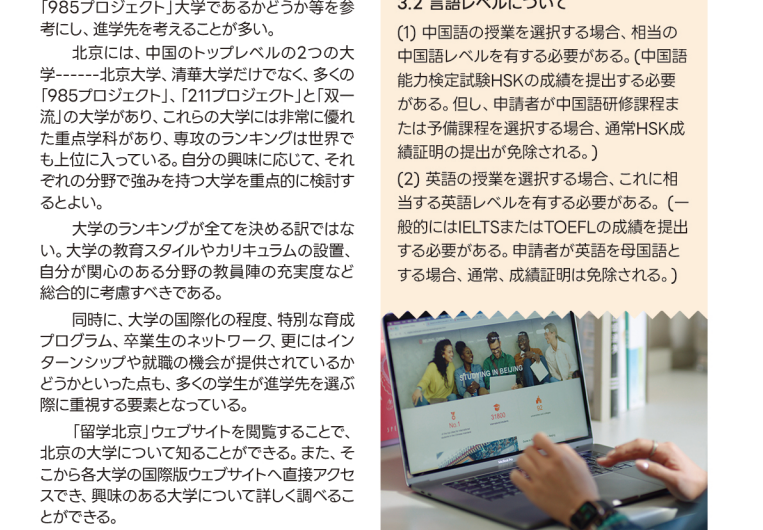
(4) 留学期間中は中国の法律・法規を遵守し、中国の文化習慣を尊重し、大学の規則に従うこと

(5) 入学時に原則として満18歳以上であること。18歳未満で、かつ両親または保護者が中国国内に常住していない場合、申請者の両親または保護者は、中国国内に常住する外国人または中国人を申請者の保護者として委任し、関連する証明書類を提出しなければならない。

3.2 言語レベルについて

(1) 中国語の授業を選択する場合、相当の中国語レベルを有する必要がある。(中国語能力検定試験HSKの成績を提出する必要がある。但し、申請者が中国語研修課程または予備課程を選択する場合、通常HSK成績証明の提出が免除される。)

(2) 英語の授業を選択する場合、これに相当する英語レベルを有する必要がある。(一般的にはIELTSまたはTOEFLの成績を提出する必要がある。申請者が英語を母国語とする場合、通常、成績証明は免除される。)



テーマ2 北京の留学費用・奨学金

中国への留学を希望する多くの学生にとって、留学の費用は検討しなければならない問題である。

一般的に、中国に留学する学生が奨学金や助成金の支援を受けない場合、学費、生活費、娯楽などを含めた1年間の総費用は8-12万円程度になる。

留学費用が変動する場合もあるが、学校や専攻、個人の生活習慣とも関わる。

北京では奨学金の支援体制も整っており、出願前に詳細を確認することが推奨される。

1. 北京の大学の授業料と寮費はどのくらいかかるのか。

下記はおおよその費用の目安である。実際の費用はプログラムによって異なるため、あくまで参考として記す。

类别 Program		语言 Language	学费 Program	宿舍 Accommodation	保险 Insurance
本科生 Bachelor	文科类	中文/英文	20,000-30,000元	1500-3000元	800元 / 年
	理工科类	中文/英文	25,000-35,000元		
	医学和 艺术类	中文/英文	学费更高		
硕士 研究生 Master	文科类	中文/英文	25,000-40,000元	1500-3000元	800元 / 年
	理工科类	中文/英文	30,000-45,000元		
	MBA和 高级管理	中文/英文	学费更高		
博士 研究生 Doctorate		中文/英文	30,000-60,000元	1500-3000元	800元 / 年
语言课程	中文/英文	8,000-13,000元			

2. その他の生活費はどのくらいかかるのか。

食事について

北京の大学の食堂はコストパフォーマンスが非常に高く、料理の種類も豊富である。麻辣香鍋や銅鍋しゃぶしゃぶ、広東式飲茶料理、北京ダックなど、さまざまな料理が揃っている。また、宗教上の信仰や生活習慣の違いにも配慮し、ほとんどの大学にはハラル食に対応した食堂が設置されており、学生の多様な食事のニーズに答えている。食堂のメニューはとても手頃な価格で、1食あたり10~20元程度で満足に食事ができる。さらに、故郷のものを食べたい場合、一部の大学寮に共用キッチンがあり、安く食材を買って自炊することもできる。

余暇・娯楽

北京での学業の合間には、古代と現代が融合したこの都市を存分に楽しむことができる。歴史遺跡や皇室庭園、国内有数の博物館・展示館などの入場料はお手頃で、無料で公開されている施設も少なくない。カラオケ、映画鑑賞、舞台公演などの課外の娯楽活動も、オンラインプラットフォームを通じて割引価格で楽しめる。

3. 奨学金プログラムはどのように調べたら良いのか。

優秀な留学生は、学費、住居費、生活費、総合医療保険料、国際旅費などの支援を受けることができる。以下は、留学生向けの奨学金の種類である。

- 中国政府奨学金
- 中国政府が設立したもので、詳細は下記のアドレスを参考。
<https://www.campuschina.org/>
- 北京市外国留学生奨学金
- 北京市が設立したもので、詳細は下記のアドレスを参考。
<https://english.beijing.gov.cn/>
- 国際中国語教師奨学金
- 教育部中外言語交流協会センターが設立したもので、詳細は下記のアドレスを参考。
<http://www.chinese.cn/>
- 北京の各大学による奨学金
- 北京の各大学によるもので、詳細は下記のアドレスを参考。
<https://english.beijing.gov.cn/>

テーマ3 出願書類の準備方法

志望する大学、プログラム、奨学金の項目を選んだ後、次に申請するプラットフォームを見つけ、出願書類を準備し、申請期限前に提出する必要がある。

1. 各大学の出願に関するウェブサイトやプラットフォームはどのように探せば良いのか。
2. 申請スケジュールと注意事項について

大学の公式ウェブサイトは、詳細な出願情報を得る最も信頼性のあるルートである。まず、GoogleやBingなどの検索エンジンで、目的の大学名に「留学生募集」などのキーワードを加え、例えば「北京大学留学生申請」と検索すれば、その大学の公式申請サイトのリンクが検索結果に表示される。また、大学の公式ウェブサイト内の「募集」関連のページから、「留学生募集」の項目にアクセスすることもできる。

さらに、大学は中国教育部や「留学北京」サイトなどのプラットフォームを通じて、留学生向けのプログラム情報を発信している。

出願するプログラムの申請開始日、申請締め切り日、入学日には特に注意する必要がある。各大学は独自に申請期間を設定するため、申請時期はそれぞれ異なる。大学の公式サイトで募集情報を必ず確認しなければならない。

申請は通常、春学期と秋学期の2期に分けられる。秋学期の入学日は通常9月で、申請期間は前年度の11月から当年の5月までである。春学期の入学日は通常2月で、出願期間は前年の8月から12月までである。

3. 出願書類はどのように準備すれば良いのか。

パスポートパスポートは外国人個人の身分を証明する最も重要な書類であり、国境を合法的に出入国するための必須の証明書である。大学の出願にも必要な書類である。留学先として中国に確定次第、個人のパスポート取得が求められる。

履歴書履歴書は簡潔かつ明確に、学歴、学術的成果、インターン経験、受賞歴、クラブ活動、個人のスキル等を含め、作成する。ページ数は1~2ページ程度にまとめる。

卒業証書前学歴の卒業証書(学位証書を含む)の原本と翻訳文(正式な翻訳機関による翻訳で、翻訳者の署名と機関の印が必要)を提出する。翻訳文は証書に記載されている学校名、専攻名、卒業年月日など、すべての情報を正確に翻訳する必要がある。例えば、学部プログラムに出願する場合、高等学校の卒業証書を提出する必要がある。

成績証明書前学歴を修了した学校から発行された正式な成績証明書(原本と翻訳文)を提出する。これも正式な翻訳機関による翻訳で、翻訳者の署名と機関の印が必要である。成績証明書には、全学年の科目、成績、単位数など、すべての情報が含まれる。例えば、大学院に出願する場合、大学1年生から4年生までの全成績が記載されたものが必要である。

語学能力証明書中国語で授業を受けるプログラムには中国語能力検定試験HSKの成績を、英語で授業を受けるプログラムにはTOEFL、IELTS、またはその他の言語試験の成績を提出する必要がある。一部の大学では、英語での授業を受けた証明書を提出している場合もある。

健康診断書通常、大学の申請ページから「外国人体格検査表」がダウンロードできる。最寄りの認定医療機関で健康診断と血液検査を受け、診断結果は中英文で記入し、医師の署名と医療機関の公印が必要である。

学習計画/志望理由書(大学院生の場合)通常、留学の目的、学術背景、学習計画、卒業後の職業計画などを含む。

その他大学によっては、出生証明書、経済保証書、無犯罪証明書などの提出を求められることがある。大学院の場合、一般的に推薦書が求められる。大学の具体的な条件に基づいて事前に準備する必要がある。

4. 受け入れ承諾書(予録取通知書)をどのように申請すれば良いのか。(大学院生)

大学院課程を出願し、特に奨学金を申請する際には、事前に志望大学と指導教員と連絡を取り、受け入れ承諾書(予録取通知書)を取得しておくことが望ましい。受け入れ承諾書(予録取通知書)には、指導教員による受入証明書、招聘状などが含まれることがあり、一般的には各大学の留学生募集の部門が発行し、大学または該当部門の公印が押されている。

テーマ4

入学手続きと入学通知書について

1. 出願書類の提出以外に、試験などの選考はあるのか。

出願書類を提出した後、入学選考のために準備が必要がある。入学選考は通常、書類審査と学力審査から構成される。

書類審査: 大学は提出されたすべての書類を審査する。
学力審査: 学部課程を申請する場合、一部の大学では学力適性試験の受験が求められる。中国語による授業を希望する場合は、専門分野に関連する中国語試験、基礎科目(数学、物理、化学など)の試験を受ける必要がある。英語による授業を希望する場合、専門に応じた数学・理科の基礎科目の試験が課されることがある。試験は自宅でのオンライン受験形式で実施されることが多く、実施時期は通常5月から6月にかけてである。

大学院課程を申請する場合は、担当教員や専攻学部により、学術的な背景や研究能力についての審査が行われる。

2. 合格通知書を受け取った後、どうすれば良いのか。

入学の手続き: 入学通知書を受け取った後は、通知書に記載された指示に従い、所定の期限内に入学意思の確認を行う必要がある。確認方法は、大学の学生情報システム上で必要事項を入力・送信するか、メールにて入学確認書を大学に提出する形式が一般的である。

入学通知関連書類の確認: 合格書類には、通常「入学通知書」、「外国留学人員来華ビザ申請表」、「入学案内」などが含まれる。

入学通知書: これは、大学が正式に入学を認めたことを証明する文書であり、氏名、合格専攻、入学時期、修業年限などの重要情報が記載されている。通常、中英併記の様式で発行され、公印が押されている。多くの大学では、電子メールや申請システムを通じて入学通知書の電子版が送付されるため、各自で印刷・保管する必要がある。入学通知書の原本がある場合は、通常、申請時に記入した住所へ国際郵便で送付される。

外国留学人員来華ビザ申請表: 「外国留学人員来華ビザ申請表」は、ビザ申請に必要な不可欠なものであり、留学生の身分及び留学資格を確認するために使用される。「外国留学人員来華ビザ申請表」は、電子版で発行されることが多く、準備が整い次第、メールで通知が届き、記載されたリンクからダウンロードすることができる。

入学案内: 入学案内には、入学前に必要な各種手続きや注意事項が記載されており、ビザの申請手続き、宿舍の申請方法、報到(大学での入学手続き)の日時・場所、学費の支払い方法などが含まれている。入学案内は必ずよく読み、記載された指示に従って各準備を段階的に進めること。

その他の書類: 学生ハンドブック、奨学金制度の説明、キャンパスマップなどが含まれている場合があり、キャンパスでの生活や学習環境についての理解を深めるのに役立つ。

テーマ5

中国渡航前の準備

1. ビザはどのように申請すればよいのか。どの種類のビザを申請すればよいのか。

各自、自国の中国大使館または領事館にて、中国への入国ビザを申請する必要がある。申請および審査には一定の期間を要するため、入国予定日の少なくとも1か月前には申請を行うことが推奨される。

長期(180日超)の学習の場合は「X1ビザ」を申請し、入国後に「居留許可」を申請する。短期(180日未満)の学習であれば「X2ビザ」を申請する。ビザ申請に必要な書類には、有効なパスポート、入学通知書、外国留学人員来華ビザ申請表などが含まれる。

中国大使館または領事館の情報については、中国外交部のウェブサイト (<http://www.fm-prc.gov.cn/>) を参照のこと。

注意事項:
(1) X1ビザで入国した場合、入国後30日以内に居留許可を申請しなければならない。ただし、居留許可は報到(大学での入学手続き)の後でなければ申請できないため、定められた日程に従って中国に入国し、報到を行う必要がある。

(2) X2ビザの有効期間はビザに明記されており、入国日から指定された日数の滞在が可能である。

(3) 報到(大学での入学手続き)の時には、X1またはX2ビザ、あるいは中国国内の公安機関が発行した居留證件を所持していなければならず、それ以外のビザでは入学手続きを行うことはできない。

(4) 入学前の学習段階を中国国内で終え、次の学習段階の入学前に中国に滞在する場合は、「停留ビザ」の申請が可能である。

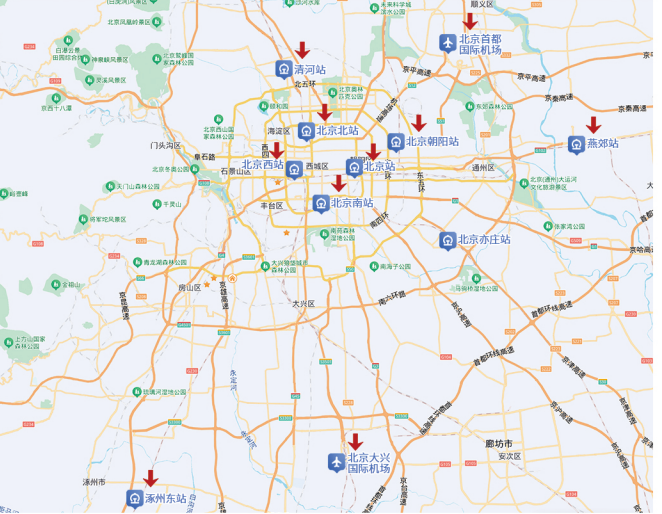
2. 出発前に必要な準備について

(1) 航空券の予約

入学日が確定した後は、航空券を検索し、予約することができる。予約の際は、出発・到着時刻、乗り継ぎ回数、受託手荷物の規定などを確認する必要がある。直行便または乗り継ぎ回数の少ない便を選ぶことが推奨される。

注意点として、北京には「首都国際空港」と「大興国際空港」の2つの空港がある。「首都国際空港」は北京市内の北東部に位置し、市中心部から約30kmの距離にある。「大興国際空港」は市内南部にあり、市中心部から約40km離れている。また、北京には複数の鉄道駅があり、いずれも市内から近い。学校の所在地に応じて、適切に移動ルート計画と良い。事前にスマートフォンに「百度地図」または「高德地図(Amap)」のアプリをダウンロードしておく、現地での交通ルートの確認に役立つ。

STUDYING IN BEIJING



(2) 宿泊の手配

多くの北京の大学では、留学生向けに校内の宿舍を提供している。入学通知書を受け取った後、学校が定める宿泊申請の手順に従い、期限内に申請を行う必要がある。

校外での居住を希望する場合、事前に不動産仲介業者を通じて物件情報を確認することができる。「自如」や「链家」など、信頼できる仲介業者を利用するのが望ましい。なお、校外で生活する場合、入国後24時間以内に「臨時宿泊登記」の手続きを行う必要がある。

(3) 資金と決済手段の準備

本人名義の海外銀行発行クレジットカードと5,000元程度の現金を持参すると、入国後の初月の生活費の支払いに便利である。また、少額の外貨を持ち込み、空港や学校近くの銀行で人民元に両替することも可能である。中国の銀行では次の通貨を両替可能である。英ポンド、香港ドル、米ドル、ユーロ、日本円、カナダドル、オーストラリアドルなど。「Union Pay (銀聯)」のロゴがあるカードを準備しておく、現地での支払いが便利である。

北京における出費の目安: ホテルの宿泊料金は1泊200~2,000元程度、1回の食事は20~300元程度が一般的である。

(4) 荷物の準備

重要書類や貴重品は手荷物として携帯し、厳重に管理することが推奨される。生活用品は北京で現地調達することが可能である。北京の気温: 7月の最高気温は38度、1月の最低気温は-15度になることもある。8~9月は夏の終わりから秋の初めにあたり、最高気温は約30度、最低気温は18度程度である。

テーマ6

基本的な報到(大学での入学手続き)の流れについて

以下は、北京に到着してからキャンパスに入るまでに行う手続きである。

① 事前に学校と連絡を取る

入学通知書を受け取った後は、入学案内をよく読み、できるだけ早く担当者に連絡を取り、報到(大学での入学手続き)の日時、入校方法、経路、保険の事前購入の必要有無などについて確認することが望ましい。

② 入国

中国での学習を目的としたビザ(X1またはX2)を所持していれば、入国および報到(大学での入学手続き)が可能である。特にX1ビザは入国後30日以内に留学の居留許可(申請方法は以下参照)に切り替える必要があるため、入国時期は適切に調整し、早すぎる入国によってビザが開学前に失効しないよう注意が必要である。

③ 新入生登録書類の記入

新入生は報到(大学での入学手続き)の時に、学校の指示に従って「新入生登録表」や「入校誓約書」などの関連書類を記入する必要がある。手続きにはパスポートや入学通知書などの身分証明書類を持参すること。

④ 学費の納入

自費留学生の場合、報到(大学での入学手続き)の後、できるだけ早く学費を納入しなければ、正式に登録が完了しない。具体的な手続きについては、学校の入学手続き関連部門に担当者を確認すること。奨学金を受けている留学生的場合、学費支援を受けていることを証明する書類の提示が必要となる。

⑤ 学生証(キャンパスカード)の申請

学生証の発行に必要な書類を用意し、学校が指定する日時・場所にて申請手続きを行うこと。

⑥ 留学保険の加入

すべての留學生は、中国での在学期間中に保険への加入が義務付けられており、保険料は年間約800元である。

保険加入は留学生の健康と安全を保障する重要な制度である。政策面ですべての留學生に保険加入が義務付けられており、国家および学校の規定に従って加入する必要がある。経済面で高額な医療費がかかる場合に備え、突発的な出費による経済的負担を軽減する。安全面で事故や病気の際に、迅速な医療サービスを受けるための保障となる。

⑦ 健康診断の予約

初めて入国する学生は、指定された医療機関で健康診断を受ける必要がある。通常、学校が予約方法を案内するか、学生を引率して集団で健康診断を行う。この健康診断の結果は居留許可申請の際に必要な書類であり、健康診断書の発行には通常7日ほど要するため、X1ビザの有効期限を過ぎないためにも、速やかに受診することが推奨される。

テーマ7

北京の生活への適応

北京での生活を安全かつ円滑に始めるために、以下の手続きや準備が必要である。

1. 中国の携帯電話SIMカードの取得方法

パスポート、入学通知書または在学証明書、現金を持参し、中国移动や中国联通などの通信会社の営業所にてSIMカードを購入することができる。SIMカードには電話番号が記載されており、中国国内の携帯番号は11桁で構成されている。

2. 銀行口座の開設方法

携帯電話SIMカードの取得および住居手続きが完了した後、商業銀行の支店にて口座を開けし、キャッシュカードを取得することができる。奨学金留学生的場合、一部の学校では奨学金が特定の銀行口座にしか送金できない場合があるため、事前に学校へ確認し、カード取得後には口座情報を速やかに学校へ報告すること。

通常、口座開設時に必要となる書類は以下の通りである。

- 有効なビザが記載されたパスポート
- 入学許可書または在学証明書
- 臨時宿泊登記表
- 中国国内の携帯電話番号

また、発行手数料(発生する場合)を支払い、その場で口座開設申込書を記入して手続きを完了する。

3. 宿泊および宿泊情報の登録方法について

宿泊先は、学内宿舍または校外の住居を選択することができる。ただし、校内宿舍は収容人数に限りがあるため、校内宿舍を希望する場合は、できるだけ早めに学校へ連絡を取り、空室の確認を行うことが望ましい。校外での宿泊を希望する場合は、まずホテルなどに一時的に宿泊しながら、長期滞在に適した物件を探すか、あるいは事前に学校に相談し、推薦情報を得ることも可能である。いずれの場合も、居住開始から24時間以内に宿泊登記の提出が義務付けられている。宿泊情報の登記はオンライン、または居住地や学校所在地の管轄派出所で行うことも可能である。オンライン登録は以下の方法で可能である。

- 北京市政府ポータルサイト(国際版)
- 「北京公安出入境WeChat公式アカウント内の「オンライン宿泊登記手続き」モジュール
- あるいは直接以下のURLにアクセスし手続きを行う。
<https://zwfw.gaj.beijing.gov.cn/zsdj/zsdj-qj/#/login>办理。

4. スマホ決済の利用方法について

スマホを使用し、WeChat(微信)またはAlipay(支付宝)アプリをインストール後、画面の指示に従ってアカウント登録を行い、国際発行または中国国内の銀行カードを紐付けることで利用が可能となる。

注意:

AlipayやWeChatで国際発行の銀行カードを登録する場合、カード発行元の銀行による認証および同意が必要となる。一部の銀行では、システム上で接続情報を認識できないため、カードの紐付けが拒否される場合がある。また、AlipayおよびWeChatにおける国際カードの利用には年間利用限度額: 50,000米ドル以内、1回あたりの利用上限: 5,000米ドル以内の制限が設けられている。

なお、以下の地域および国の電子決済アプリを利用しているユーザーは、中国本土でも直接QRコードをスキャンして支払いを行うことが可能である。

INTEGRATING INTO BEIJING

5. 学習類の居留許可の申請方法

外国人ビザ・證件オンライン申請サイト (<https://zwfw.gaj.beijing.gov.cn/rp/>) を通じて、申請書を記入し、申請日時および場所を予約した上で、学校の公印を押し、印刷する必要がある。予約した日時・場所に、パスポートの原本、学校の公印がある申請書、入学通知書、外国留學生来華ビザ申請表、外国人体格検査記録検査証明書、白背景の2インチ証明写真などの必要書類を持参の上、北京市公安局出入境管理局にて申請手続きを行うこと。詳細については、学校に問い合わせるか、国家移民管理局公式ウェブサイト (<https://www.nia.gov.cn/>) を参照し、「業務案内」欄で確認すること。また、12367サービスホットラインにて問い合わせも可能である。

6. 勤労・学業補助活動(アルバイト)を申請するには

校外での勤労・学業補助活動(アルバイトなど)を希望する場合、以下の条件を満たし、学校の同意を得た上で、学習類の居留證件に勤労・学業補助の注記を加える必要がある。

- 満18歳以上であり、希望する職務に適した健康状態であること
- 学習類の居留證件の残存有効期間が6か月以上あること
- 過去に法令違反や校則違反がないこと
- 現在の学校において1年以上継続して在学しており、学業成績および出席率が基準を満たしていること
- 雇用先との契約書および学校の推薦書等の書類を準備し、「学習類の居留證件の申請方法」(テーマ7項の第5項を参照)に従って予約を行い、関連書類を持参のうえ、北京市公安局出入境管理局で申請手続きを行う。原則として、留学生の勤労・学業補助活動(アルバイト)の勤務時間は週8時間、月40時間を超えないものとする。寒暑假休暇中は、週16時間、月80時間まで許可される。具体的な手続きと提出書類は、学校に確認すること。

7. その他の注意事項

(1) 学校への情報更新: パスポート、ビザ、居住住所、携帯電話番号などの中国滞在時の個人情報に変更があった場合、24時間以内に学校担当者へ必ず報告すること。

(2) 宗教活動に関する注意: 中国においては、国家が合法的な宗教活動を保護している。信者の集団宗教活動は、地元政府の関連部門によって正式に登録・許可された固定の宗教活動施設内で行わなければならない。高等教育機関は、留学生の民族的慣習や宗教信仰を尊重しているが、宗教活動施設は提供されない。学内での布教活動、宗教集会等の宗教活動は一切禁止されている。

テーマ7

SETTLING IN BEIJING

1. 「実習加注(実習を行う際に居留許可証に付加される特別な注記)」はどのように申請すればよいのか。

校外での実習を希望する場合、以下の基本条件を満たした上で、学校の同意を得て、居留證件に実習加注を行う必要がある。

- 満18歳以上であり、実習先の業務に対応できる健康状態であること
- 法律違反・犯罪歴や規則違反がないこと
- 学業の進捗および出席率が学校の基準を満たしていること
- 実習内容が本人の専攻分野と関連し、かつ教育課程に実習が含まれていること

申請にあたっては、大学が発行する「外国人留学生の校外実習への参加を認める意見書」(実習先企業の正式名称、実習期間および内容を明記) および、実習先から発行された実習受け入れの意見書または実習契約書(大学の意見書に記載された内容と一致している必要がある)を準備し、「テーマ7」の第5項「学習類の居留證件の申請方法」を参考にして予約を行い、必要書類を持参の上、北京市公安局出入境管理局にて申請手続きを行うこと。

2. 就労許可はどのように申請すればよいのか。

就労許可の申請は、雇用先の企業がオンラインで提出し、北京外国人来華工作サービス窓口が審査・発行を行う。各サービス窓口の所在地については、以下のウェブサイト参照: <https://www.bjhnwr.gov.cn/xfw/wgrlgnzsk/gzskswblzn/index.html>

申請に必要な主な書類は以下の通りである。

- 記入済みの「外国人来華工作許可申請表」
- 職歴証明書
- (外国公文書認証不要国の場合) 付加証明書、または中国駐在の大使館・領事館が認証した最終学歴証明書、関係保可文書、または職業資格証明書
- 無犯罪証明書
- 健康診断書(外国人体格検査記録)
- 雇用契約書または任職証明書(多国籍企業の場合は派遣状を含む)
- 申請者のパスポートまたは国際旅行證件
- 過去6ヶ月以内に撮影された正面無帽の証明写真
- 同伴家族に関する証明書類
- その他関連書類



「留学北京」<https://english.beijing.gov.cn/studyinginbeijing>